

令和7年所信

昨年は、市制100周年という記念すべき節目の年を市民の皆様と盛大に祝い、多くの喜びを分かち合いました。さらに、温泉まつりをはじめとする3大祭りをアップグレードし、数々のイベントも開催しました。

それらを通して、このまちが多くの人々に支持され、愛されるまちであるということ、まだまだ底知れぬ可能性と磨ききれていない宝があるということも再認識できました。ふるさと別府を誇らしく思えた1年でした。

100周年記念事業以外にもたくさんの出来事がありました。

特に記憶に残るのは、8月に開催されたパリオリンピックにおいて、別府市出身の上野優佳選手がフェンシング女子フルーレ団体で日本勢初の銅メダルを獲得し、市民に大きな勇気と感動を届けてくれたことです。

一方で、元日に発生した能登半島地震をはじめ、8月の台風による水害や異常気象など、災害の脅威を改めて痛感させられる一年でもありました。

私自身は能登半島地震被災地での入浴支援活動に赴き、上下水道などインフラの更新の重要性、災害時の備え、共助の重要性を実感しました。

日頃からの防災意識を高めることが何より重要です。

昨年は、市内3ヶ所目の防災備蓄倉庫が完成し、さらなる防災体制の強化を図りました。引き続き、インフラの早期更新に向けたハード面の取り組みや『ひとまもり・まちまもり協議会』などとの避難訓練、避難所運営訓練など、ソフト面の取り組みを通じて「災害に強いまちづくり」を推進してまいります。

今年は、市制施行101年目という新たなスタートを切ります。

私たちは今、過去の100年と未来の100年の狭間に立ち、新しい時代を切り開く責務を担っています。

本市の宝である温泉の効能を「見える化」し、豊かな自然・歴史・文化などの体験と組み合わせて高付加価値化を図る「新湯治・ウェルネス」の取り組みを中心に、持続可能な観光都市としての成長を目指します。

昨年、扇山の麓に、その「新湯治・ウェルネス」の拠点施設を設置することを

発表しました。この施設は、充実している市内の宿泊施設や飲食店、温泉施設などに対し、更なる経済波及効果を生み出す装置の役割を果たします。

既存事業者の皆様と一体となり取り組むことで、世界に向けて確固たる地位とブランドを確立し、次の100年も揺るぎないものにしていきます。

観光で得た収益が市民所得を向上させ、さらに市民サービスや福祉サービスの充実、市民一人ひとりの生活の豊かさや幸せに繋げる好循環をつくり出してまいります。

また、市民生活に直結する課題についても果敢に挑戦しています。

ライドシェアの取組です。

コロナ禍でバス、タクシーなどの公共交通を担う人材が減少し、底は打ったという共通認識はあるものの、現在も市民生活やインバウンドをはじめ爆発的に増加する観光客の交通需要を満たしているとはいえない状況です。

現在、公共ライドシェアの制度を活用した「湯けむりライドシェア」の実証運行を行っています。既存事業者の皆様も懸命な努力を続けていただいているものの、今後、状況が改善していかない場合には更なるライドシェアの拡大をはじめ、迅速に必要な対策を講じてまいります。

そして、今年度は第3期別府市総合戦略の策定を行います。

これまでの10年間の地方創生の取り組みを振り返ると、まず、戦略を確実に実行しても人口減少はそれを上回るスピードで進んでいる現実があり、総合戦略と人口ビジョンとの間に乖離があることが浮き彫りになりました。

国と地方との役割分担が果たされてきたのか、などを検証しつつ、市民幸福度やウェルビーイングなどの指標にこだわった戦略を策定する必要があると実感しています。

デジタル技術の積極的な活用を進め、市民に寄り添う施策を推進し、観光業を中心とした産業の発展を全力で推進します。

また、国の総合経済対策を受け、議会のご理解をいただきながら、物価高騰に直面する市民生活を速やかに支援します。

住民税非課税世帯には1世帯当たり3万円、子育て世帯に対しては、児童1人当たり2万円を加算した特別給付金を支給いたします。

さらに、省エネ家電製品等購入費補助事業も実施します。

省エネ家電製品補助については、電気料金の軽減と地域経済循環、さらには市内電気小売店を支援する目的もあります。

今後にも必要に応じて速やかに対策を講じてまいります。

そして、令和7年度はいよいよ新図書館が完成予定です。

着々と建設工事が進んでおり、公園の緑と共生する建物のカタチが見えてきました。

「こもれば公園」と命名したこのエリアは、木々のあいだから日が差し込む心地よい居場所です。

新図書館を中心に豊かな暮らしにつながる情報を届け、共創交流拠点として多様な出会いを大切にしながら、夢や目標の実現と地域課題の解決に役立つサービスや機能を提供しますので、新施設の誕生を楽しみにお待ちしております。

最後に、この100周年記念事業で市民の皆様にご好評だったイベントや施策については、100周年のレガシーとして来年度以降の事業にも随所に反映させてまいります。

100周年は特別ですが、101年目からの別府市もまた特別です。

これを契機にさらに別府市がアップデートされ、市民の皆様のそれぞれの幸せが実現できる、誇れるまちとして進化できるよう、今年も全力で取り組みます。

別府市長 長野 恭紘